

さらしな楽校だより

マレットゴルフクラブの様子から…

【参加者された方の感想より】

東京在職40年、近郊の某市で20年間ばかり、地域の4年生から6年生の少年野球を指導(コーチ)した頃のことを思い出し、子どもたちの素直で明るい姿から、かえって自分たちが教えられることが多々ありました。今回参加させていただいて、当時のことを思い浮かべつつ、上手下手にかかわらず、スポーツの楽しさや子どもの上達する姿を、地域の人たちと共に見守っていければいいなと思っております。



5年生キャンプの様子から…(校長通信「4つのき」より抜粋)

さて、今回のキャンプは例年とは違う2つの取り組みをすることでも注目していました。1つは、「さらしな楽校」に申し込んだ地域の方々が一緒に冠着山へ登ってくださること、もう1つは、外部講師に夕食づくりやキャンプファイヤーの指導をお願いすることでした。

冠着山の登山には、修験道の修行をしている工藤さんが山伏姿で参加したり、事前学習でもお世話になった地域の明徳寺和尚さんの塚原さんが参加したり、学校運営委員長の太谷さんがご夫婦で参加したり、学校運営委員の森さんが参加したりと、盛りだくさんの内容で登山を実施しました。登山途中にある十三仏の説明を聞きながら森さんが作詞作曲した歌を聴いたり、苦しいときにみんなで唱える念仏「ザンギ懺悔六根清浄」を唱えながら山に登ったり、山頂では各自の願いを書いた護摩木を燃やしながら願い事をお願いする「護摩行」を体験したりと、貴重な経験をさせていただきました。

外部講師による夕食づくり指導は、インストラクター4人の先生方(井浦先生、田中先生、宇賀神先生、田中先生)に上手に教えていただいたので、薪で焚くご飯やカレーも初挑戦とは思えないくらい美味しく作れました。また、いつもは大きな火を囲むキャンプファイヤーはミニサイズのものになりましたが、点火にもひと工夫があって、例年とは違う和やかな雰囲気のカンパファイヤーになりました。4人の先生方が子どもたちを盛り上げてくれる技は、さすがプロと思わせるものでした。

2日目には、棚田の水源でもある大池の湧き水を実際に飲んで、その美味しさに感動していた子どもたちの姿も見ることができました。キャンプで得たこと・感じたことを、5年生がこれからの学校生活にどうやってつなげていくのか、大いに期待したいと思います。担任の今石先生、引率の小林先生と西村先生、2日間ありがとうございました。

(裏面はキャンプの写真特集です)



【山伏姿の工藤さんと作務衣姿の塚原さん】



【苦しいときの念仏「ザンギ懺悔六根清浄」】



【貴重な経験「護摩行」】



【山頂で肩を組んで歌った校歌】



【野外活動のプロ4人の先生方】



【ミニサイズのキャンプファイヤー】



【点火にひと工夫、盛り上げ方もさすがプロ】



【弁天清水の湧き水】